

# プラム・プルーン特報 No. 7

平成 29 年 6 月 30 日  
J A 中野市営農センター  
J A 中野市プラム部会

昨年より 7 日以上遅れて大石早生の収穫を迎えますが、6 月は気温、降水量とも平年を下回り、生育は、停滞気味です。今後、病害虫が発生しやすい時期になりますので、よく園内の状況を確認しましょう。

また、シンクイムシ類が増加します。散布間隔に気を付け、死角ができないよう薬液が十分にかかるように注意して下さい。

## 1. 薬剤散布 隣接園（特に収穫期の作物）に飛散しないように注意して下さい

### 《プラム》 前回から約 10 日後

・散布時期： 7 月上中旬 （7/11～7/15）	・散布日 7 月 日
	・散布量 0
・散布薬剤： 水 100ℓ 当り	
展着剤（まくぴか） 20ml	
劇 バイスロイド EW 33ml （14 日前、2 回）	
フルーツセイバー 66ml （前日、3 回）	
・対象病害虫：アブラムシ類、（シンクイムシ類）、灰星病	
・散布量：10a 当り SS500ℓ 動噴 600ℓ （散布むらのないよう、十分に散布する）	
・注意事項	
① 今回以降の展着剤は、シリコーン系展着剤まくぴか 5000 倍を使用してもよい。 （湿展性改善、花粉溶脱、果実汚染防止）	
② 紅りょうぜん等の収穫期に近い品種はバイスロイド EW に代えてモスピラン顆粒水溶剤 2,000 倍（前日、3 回）を使用する。	
③ <u>バイスロイド EW は、収穫前使用時期が 14 日前までのため、早生種への散布は注意して下さい。</u>	

### スモモヒメシンクイムシ発生状況

（前週調査数）

（各地区フェロモントラップ調査日：6/28）	* 上今井地区 -1 頭 ⇨ (1)	* 倭地区 -4 頭 ↑ (2)
（各地区フェロモントラップ調査日：6/26）	* 深沢 -0 頭 ⇨ (0)	* 一本木 -10 頭 ↑ (1)
	* 西条 -1 頭 ⇨ (0)	* 草間 -21 頭 ↑ (0)

### 《プルーン》 前回から約 10 日後

・散布時期： 7 月中旬 （7/13～7/17）	・散布日 7 月 日
	・散布量 0
・散布薬剤： 水 100ℓ 当り	
展着剤 10ml	
ベルクードフロアブル 50ml （3 日前、3 回）	
サムコルフロアブル 10 40ml （3 日前、3 回）	
・対象病害虫：灰星病（すす点病）、シンクイムシ類	
・散布量：10a 当り SS500ℓ 動噴 600ℓ （散布むらのないよう注意する。）	
・注意事項	
① 果実病害防除の重要な時期であるので果実にかかるよう十分散布する。	

### ・今後の管理

\*シンクイムシ被害果は園地外へ除去するか、水没させて被害が増加しないようにしましょう！

\*枝吊り、支柱たて、新梢管理などを行い、明るく農薬の薬液が十分にかかる園地にしましょう。